

第8回 林政問題に関する研究会資料

～曾於市の森林事業の現状と今後の課題について～

鹿児島県 曾於市



曾於市の概要

位置図



曾於市の人口(平成27年2月末日現在)

男:18,151人, 女:20,581人

合計:38,732人(高齢化率:36.2%)

(市資料より)

農産物生産額 約410億円
うち 畜産 約328億円

(市資料より)

飼育頭数
牛 35,000頭
豚 102,000頭
鶏 4,300,000羽

(市資料より)

特徴的な農業
ユズ栽培面積 92.5ha

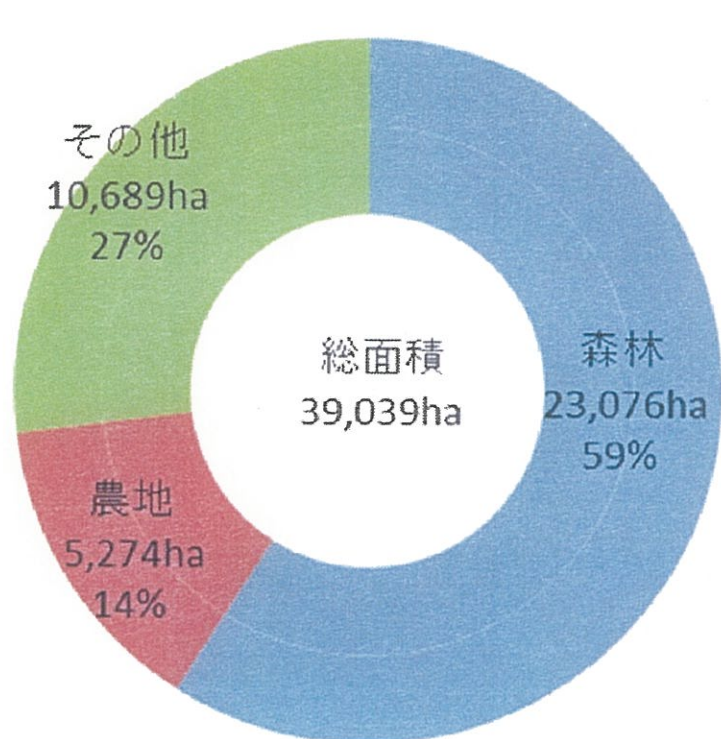
(市資料より)



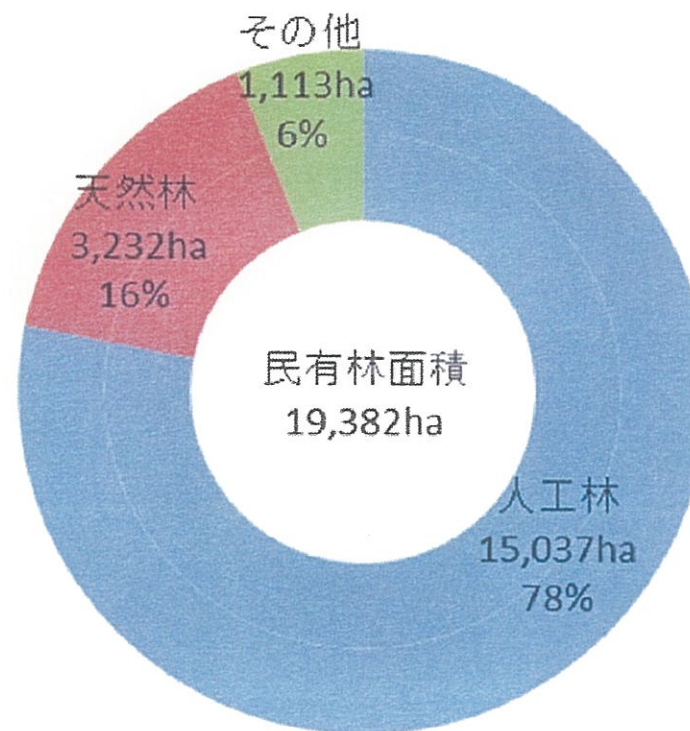
九州一の面積！！



曽於市の森林

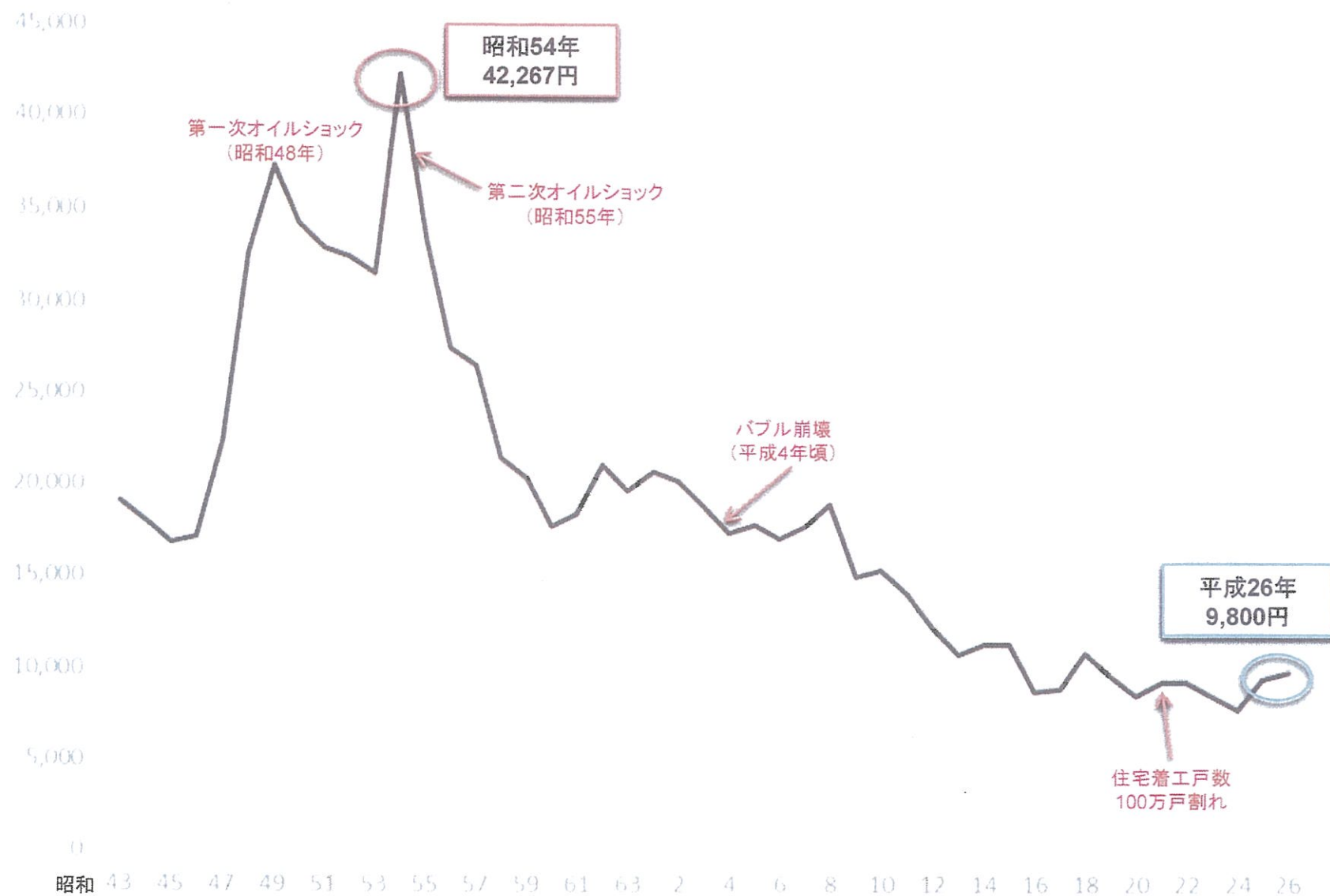


(平成 25 年度策定 大隅地域森林計画より)



(平成 25 年度策定 大隅地域森林計画より)

末吉共販平均材価の推移(1m³あたり)



(曾於市森林組合資料より)

曾於市単独間伐及び再造林促進対策事業の推移

(単位:ha)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (当初予算)
間伐補助	355	277	330	330	260	105 (4,891千円)	80 (3,200千円)	85 (3,250千円)
再造林(植栽)補助	—	—	—	—	—	84 (4,000千円)	96 (6,260千円)	95 (6,251千円)
下刈補助	—	—	—	—	—	—	—	260 (3,479千円)
合計						(8,891千円)	(9,460千円)	(12,980千円)

()は補助金額

参考1

施業ごとの市単独補助金額

種 目	補助金額
間 伐 補 助	市内居住者 40,000円/ha 市外木従者 30,000円/ha以内
再 造 林 補 助	市内居住者 県標準事業費の10%以内 市外木従者 県標準事業費の8%以内
下 刈 補 助	市内居住者 県標準事業費の10%以内 市外木従者 県標準事業費の8%以内

参考2

曾於市における再造林経費の試算(経済課試算)

スギ・ヒノキを2,500本/ha植栽する場合

(円)

標準事業費	国・県補助金	県単苗木補助金	市単補助金 (苗木補助を含む)	自己負担
699,000	475,300	60,000	69,900	93,800
100.0%	68.0%	8.6%	10.0%	13.40%

基盤整備関連事業
(市上乗せを実施した事業)

(単位:千円)

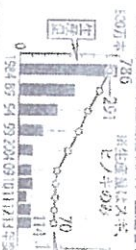
年度	事業名	事業主体	事業内容	事業費 (税込)	県補助金	市補助金	その他	備考
21	森林整備・林業木材産業活性化推進事業	曾於市森林組合	グラップル付トラック 1台	14,910	7,100	2,840	4,970	県補助率50%以内 市補助率20%以内
22	〃	〃	フォワーダ 1台	7,875	3,750	1,500	2,625	〃
24	林業・木材産業構造改革事業	〃	グラップル付トラック 1台 選別機 1式 土場舗装 1式	137,602	59,825	24,924	52,853	〃
26	森林整備・林業木材産業活性化推進事業	〃	プロセッサ 1台 フェラバンチャ 1台 フォワーダ 1台	52,900	24,500	9,800	18,600	〃
合計				213,287	95,175	39,064	79,048	

その他の基盤整備関連事業

年度	事業名	事業主体	事業内容	事業費 (税込)	県補助金	市補助金	その他	備考
21	森林整備・林業木材産業活性化推進事業	(株)オベック	プレカット加工施設	323,400	154,000	0	169,400	県補助率50%以内
24	〃	I木材市場	ログローダ 1台	21,420	10,200	0	11,220	〃
26	〃	T造林	フェラバンチャ 1台	14,526	6,725	0	7,801	〃
合計				359,346	170,925	0	188,421	

曾於市における伐採届(皆伐)面積の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
伐採届面積(ha)	66	86	54	128	157	177	258
内造林計画面積(ha)	32	60	51	77	64	84	157
再造林率(%)	48.5%	69.8%	94.4%	60.2%	40.8%	47.5%	60.9%



農業・林業・水産業
1970年 100,000人
1980年 90,000人
1990年 80,000人
2000年 70,000人
2010年 60,000人

苗木増産担い手不足

再造林推進 需給調整も課題



コナラ苗を生産する福岡県久留米市の苗木生産者。背景には、再造林の現場が見える。

苗木生産者(久留米市)の生産量は、1970年以降、減少傾向にある。これは、人口の減少や、農業従事者の高齢化による。また、苗木の需要は、再造林の推進により、増加傾向にある。このため、苗木の需給調整が課題となっている。

となる日本銀行は、再造林の推進を主張している。また、苗木の生産者も、再造林の推進を主張している。このため、苗木の需給調整が課題となっている。

原発対応話らず

福島第一原子力発電所事故の影響で、再造林の推進が困難となっている。また、苗木の生産者も、再造林の推進が困難となっている。このため、苗木の需給調整が課題となっている。

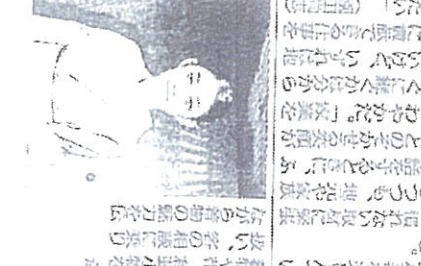
キユーバ危機

在沖米軍に核攻撃

在沖米軍は、核攻撃の能力を持っている。これは、米国の政策である。このため、在沖米軍の核攻撃が、アジアの平和を脅かしている。

在沖米軍は、核攻撃の能力を持っている。これは、米国の政策である。このため、在沖米軍の核攻撃が、アジアの平和を脅かしている。

在沖米軍は、核攻撃の能力を持っている。これは、米国の政策である。このため、在沖米軍の核攻撃が、アジアの平和を脅かしている。



在沖米軍の核攻撃に関する報道写真。

在沖米軍は、核攻撃の能力を持っている。これは、米国の政策である。このため、在沖米軍の核攻撃が、アジアの平和を脅かしている。